

新編會津風土記

九十八

庫	文	閣	内
一四函	二二〇冊	二八〇二號	和書類

(八九方)

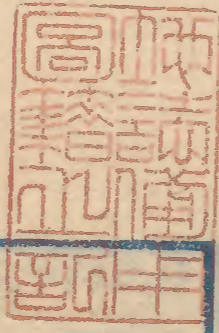
内一〇九六

地七

88	閣
内閣文庫	
番號	和 22802
冊數	120 (98)
函號	174 2

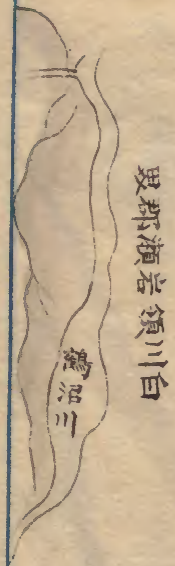


附
88



福良組地理之圖

南



白領岩瀨郡

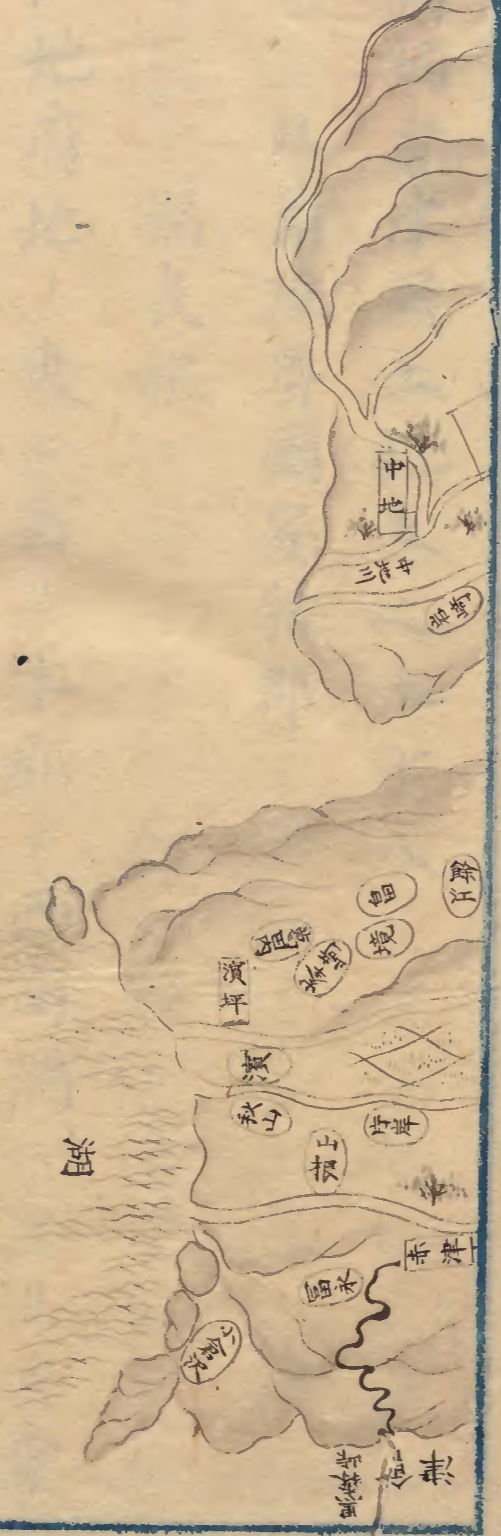
三

内
一
丁
九
六
四

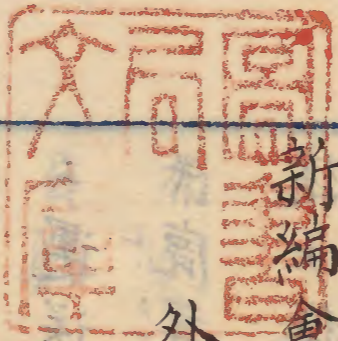




郡山領奥



北



新編會津風土記卷之九十八

外篇陸奥國安積郡

福良組

内一〇九六四號

此地府地ノ東ニ當リ本郡ノ西南隅ニアリテ會

津郡ノ地少ク是ニ属ス布引山ノ峯ヨリ南鶴沼川ニ至ルマテノ地ヲ云

東ハ本郡守山領ニ界ヒ誣訪峠ヲ限トシ西ハ會

津郡原組ニ鄰リ黒森峠ヲ限トシ南ハ布引山ヲ

越テ白川領岩瀬郡ニ界ヒ鶴沼川ヲ限トシ北ハ

湖水ヲ限トス又東南ノ方ハ守山領岩瀬郡ニ接

之勢至峠ヲ限トス東西三里十六町餘東ハ守山領岩瀬郡
 勢至堂村ノ原組原村ノ界勢至峠ヨリ西ハ南北四里十八町原組
 計南ハ白川領沼川ヨリ北ハ岩瀬郡ノ界鶴高山南ニ峙テ湖水
 北ニ浸シテ村落田圃多クハ山間ニ闊ク府下ニ
 較レハ寒強ク暑弱クシテ春雪遅ク消工秋霜早
 夕降ル是ニ因テ晚稻熟ラス農隙ニハ常ニ江戸
 ニ運送スル米ヲ駄シ或ハ筵ヲ織リ炭山灰ヲ燒
 キ鹿茸トクヲ採リ搗粟ヲ製シ望陀ノ皮ヲ剥キ熊野
 猪ヲ獵テ生産ノ資トスル者多シ赤津村ハ布引

山ニ近キ故仲秋ノ頃村民六七日ノ糧ヲツ、
 布引山ニ入り山竹ヲ伐ルニ竹林深邃ニシテ脊
 負歸ルコト叶ハサレハ所所大樹ノ下ニ積置キ
 冬雪積ルヲ待テ仲春ノ頃又雪舟ニテ山ヲ引下
 シ府下ニ鬻キ出ス濱坪村及福良ノ端村濱赤津
 ノ端村秋山ノ三村ハ湖濱ニ臨メル故漁網ノ利
 多シ此組ノ諸村皆郷名ヲ失フ共ニ菱潟莊古文書
 ハ菱潟ヲ菱縣ニ作ル者アリト稱ス凡六箇村アリ

福良組六箇村

福良村フクヲ

端村ハツムラ

山崎ヤマザキ

笥口スクリ

中澤ナカサハ

伊羅澤イラサハ

大窪オホクボ

入宇田イリウダ

一本木イツポンキ

小彌陀内コミダウチ

栗生クリウ

福宜内フクキウチ

大將地ダイシャウヂ

打越ウチコシ

餘江新田ヨロイニシ

畠ハタ

境サカイ

峯崎ミネザキ

濱

穴尾

片岸

馬入新田村

濱坪村

端村

葛田内

赤津村

小名

千貫石

富永

中端村

小枝町

北向

東岐

小倉澤

山根

秋山

三代村

小名

中入新田

北澤

端村

唐澤

中地村

小名

岩崎

福良村

端村

山崎

寛

大口

中澤

入宇田

栗生

打越

福良村

福宜内

大將地

栗生

打越

栗生

打越

栗生

打越

福良村

福宜内

大將地

栗生

打越

栗生

打越

栗生

打越

福良村

福宜内

大將地

栗生

打越

栗生

打越

栗生

打越

福良村

福宜内

大將地

栗生

打越

栗生

打越

栗生

打越

福良村

福宜内

大將地

栗生

打越

栗生

打越

栗生

打越

福良村

福宜内

大將地

栗生

打越

栗生

打越

栗生

打越

福良村

福宜内

大將地

栗生

打越

栗生

打越

栗生

打越

福良村

福宜内

大將地

栗生

打越

栗生

打越

栗生

打越

作心府城ノ東ニ當リ行程五里三十四町餘家數
百三十四軒東西六町二十八間南北三町白川街
道ヲ夾ミ南北西頰ニ連リ東端ニ折ル西
ノ入口ヲ古町ト稱シ其次ニ中町ト稱シ東端ヲ

荒町ト稱シ村中ヨリ北ニ出ル小路ヲ新町ト稱
ス又南ノ方ニ裏町アリ東ハ山ヲ擁シ三方ニ田
圃ヲ閑ク白川街道驛所ニテ村中ニ本陣ヲ置キ
官ヨリ令セラル、掟條目ノ制札アリ赤津村
驛ヨリ二十町四十八間此ニ繼キ此ヨリ三十三
町二十二間三代村驛ニ繼ク村西白川街道ニ一
里塚アリ東十八町二十九間三代村ノ界ニ至ル
其村ハ卯辰ニ當リ二十九町十間餘西九町四間
餘赤津村ノ界ニ至ル其村ハ酉戌ニ當リ十四町

餘南十六町三十二間馬入新田村ノ界ニ至ル其
村ニテ二十二町北十八町濱坪村ノ界ニ至ル其
村ニテ二十三町

端村

山崎

本村ヨリ辰巳ノ方十町餘ニアリ家數七軒東西
五十七間南北四十一間東ハ山ニ倚西ハ田圃十
リ

鏡口

西五十間

本村ノ南十町五十間餘ニアリ家數六軒東西二
十八間南北三十四間東ハ山ニ倚西ハ田畝ナリ
五十ノ中澤^{オホサハ}北ハ山ニ倚西ハ田畝ナ
菟口ノ南一町四十間餘ニアリ家居一軒山麓ニ
住シ西南ニ菜圃アリ
町ニ遊伊羅澤^{イラサハ}川街道一
中澤ハ東二町ニアリ家居一軒山間ニ住シ南ニ
田圃アリ北ニ田圃ナリ西ハ山ニ倚東ハ田圃ナリ
南^{オホクノ}大窪^{オホクノ}北ハ山ニ倚東ハ田圃ナリ西ハ山ニ倚

中澤ノ南二町五十間餘ニアリ家數四軒東西十二
間南北四十間餘東南ハ山ニ倚西北ハ田圃ナリ
大窪ノ南一町ニアリ家居一軒東ハ山ニ倚西ハ
田圃ナリ南四十間餘ニアリ南ハ山ニ倚西ハ田圃
一本木^{一本木}東ハ山ニ倚西ハ田圃ナリ
入字田ヨリ己ノ方三町四十間ニアリ家數六軒
東西四十四間南北十間東北ハ山ニ倚西南ハ田
圃ナリ

彌陀内

本村ヨリ未ノ方六町餘ニアリ家數三軒東西十

五間南北三十間西ハ山ニ倚東ハ田圃ナリ六

粟生

彌陀内ノ南四町二十間餘ニアリ南北二區ニ住

ニ其間四十間餘ヲ隔ツ北ノ一區ヲ小粟生ト稱

ス家數四軒東西十二間南北三十六間西南ハ山

ヲ負東北ハ田圃ナリ南ハ一區ヲ大粟生ト稱ス

家數三軒東西三十間南北五十間西北ハ山ニ倚

東南ハ田圃ナリ

彌陀内

粟生ノ南五町ニアリ家數五軒東西三十間南北

一町二十間西ハ山ニ倚東ハ田圃ナリ

大將地

彌陀内ノ南五町ニアリ家數二軒東西三十二間

南北十四間西ハ山ニ倚東ハ田圃ナリ

打越

本村ノ東十四町四十間西リ家數五軒東西二

十間南北一町東ハ山ニ倚西ハ田圃ナリ東西ニ

餘江新田

打越ノ北續ニアリ家數十七軒東西一町三十間

南北一町二十三間北ハ山ヲ負南ハ田圃ナリ

畠

餘江新田ヨリ亥ノ方十二町ニアリ家數四軒東

西一町二十間南北二十間東北ハ山ニ倚西南ハ

田圃ナリ

境

畠ヨリ戌ノ方二町餘ニアリ東西二區ニ住ス東

ノ一區家數三軒東西四十間南北三十間此ヨリ

四十五間西ニ一區アリ家數四軒東西四十五間

南北三十三間共ニ東南ハ山ニ倚西北ハ田畝十

畠

境

ヨリ戌ノ方四十間餘ニアリ家數三軒東西五

十間南北十八間東ハ山ヲ負西ハ田畝ナリ

本林濱

本村ノ北二十八町四十間ニアリ南北二區ニ住
シ其間一町ヲ隔ツ南ノ一區家數十四軒東西一
町十間南北五十五間北ノ一區家數七軒東西一
町二十間南北三十間共ニ四方田圃ニテ北ハ湖
濱ニ近シ

穴尾アキヲ

本村ヨリ戌亥ノ方八町四十間ニアリ家數二軒
東西四十間南北三十間西北ハ山ニ傍東南ハ田
圃ナリ昔湖濱ヨリ大蛇出テ多ク人ヲ害セシカ

空海カ加持ニ因テ道天山ニ入ル其尾ノ在リ
所トテ穴尾ト名ケテ以テ此トナリ

片岸カタキ

穴尾ヨリ寅ノ方四町三十間ニアリ家數二軒東
西二十間南北四十五間西ハ山ニ倚東ハ菅川ニ
傍

山川

黒塚山クマツカ村ヨリ辰巳ノ方一里十八町餘ニアリ
西南ノ方小籠森コカゴモリト云山ニ連ル共ニ安積岩瀨

二郡ニ跨リ峯ヲ限トスニ至リ此天安積岩
餅箱山 村南一里十八町餘ニアリ此天安積岩
瀬二郡ニ跨リ峯ヲ限トシ南ハ白川領ニ屬ス
竹槽多シ
岫岫 村南二里十町十間布引山ハ東尾先トアリ
リ安積會津二郡ノ界ニテ白川領ニ赴ク徑路
アリ絶頂ヨリ北ハ本村ニ屬シ南ハ本村及赤
津馬入濱坪四箇村入逢ノ地ナリ
山王坂 村ヨリ辰ノ方廿七町ニ長間ニ有リ昔

頂ニ山王推現ノ社アリ因テ斯ク唱テ頂是テ
一町餘白川街道ナリ
菅川 源ハ布引餅箱黒塚ノ諸峯ヨリ發シ隱津
島ノ社前ニ至テ御手洗川トナリ三里餘北
流レ村西ヲ過テ湖水ニ入ル廣三間岩魚鱈ヲ
産ス
中川 菅川ノ支流ナリ馬入新田村ノ堰水ト端
村山崎ノ溪流コトニ會ヒ田地ハ養水トナリ
村中ヲ過キ北ニ流ルコト三十町餘端村濱

外東北三テ一町計ノ間水湛テ廣二十五間餘
二至リ湖水ニ入ル因テ下流ヲ沼川ト唱フ
沖積ニ關梁ニ架ス長六間幅二間勾欄
橋六第一ハ村中中川ニ架ス長六間幅二間勾欄
アリ一ハ村西一町四十間菅田ニ架ス長六間
幅二間共ニ白川街道ナリ一ハ村北二十八町
ニアリ長六間一ハ村ヨリ亥ノ方十三町四十
間ニアリ長五間共ニ丸木橋ナリ一ハ村ヨリ
未ノ方六町餘ニアリ長五間一ハ村南一里十

四町ナリ長五間共ニ土橋ナリ共ニ村中ノ
米通路菅川ニ架ス長六間一ハ村中ノ
水利

堤六第一ハ村ヨリ己ノ方二十町ニアリ東西三
十間南北五十間一ハ村ヨリ辰己ノ方十五町
ニアリ東西百間南北六十間一ハ村東九町ニ
アリ東西十五間南北三十間一ハ村東十四町
ニアリ東西五十間南北三十間一ハ村ヨリ丑
寅ノ方十六町五十間ニアリ東西三十間南北

二十間一八村ヨリ廿ノ方十四町二十間三ア
リ東西三十間南北十五間
郡署十五間南三十四間一八村東十四間
代官所村中ニアリ役人ヲ置キ本組及會津郡
原組ヲ支配セシム耶麻郡川西組戸中村郡役
所ニ隸ス
倉廩
米倉村中ニアリ社倉ナリ
神社

隱津島神社

村南一里二十二町布引山ノ東麓
ニアリ深山幽谷ノ間ナレハ數十歩ノ間林木
蒨蔚トシテ日光ヲ翳シ泉石幽邃ニシテイト
カミサヒタリ社ノ前ニ菅谷地トテ多ク菅ノ
生スル所アリ旱魃ノ時神職桑名氏潔齋シテ
菅ヲ採レハ其雨必降ルト云又社ノ後ナル山
ニ風穴數多アリ此社ハ延喜式神名帳ニ載ス
ル所ニシテ鎮座ノ初詳ナラス古ハ神宮社職
モ數莫アリシニヤ今端村ニ禰宜内ノ名アル



モ古神職ノ居シ遺趾ナリトソ何頃ヨリカ社
頭零落シテ草莽ノ中ニ形計ノ小祠ノミ残り
社前ニ多ク菅ノ生スレハ俗ニ菅明神ト唱来
リシカ正徳元年三月神職桑名河内尚永ト云
者吉田家ニ請テ神號ヲ舊ニ復ス肥後守正容
家臣ニ命シテ神殿ヲ経営セシム享保十六年
十一月六日回祿ニ罹リシカ同十七年六月正
容又家臣ニ命シテ本ノ如ニ造ラシム六月二
十三日同二十四日兩日ヲ以テ恒例ノ祭日ト

ス祭神ハ瀛津嶋姫命ナリ
御手洗川即菅川ノ源ナリ瀑布アリ高三丈
計菅瀧ト唱フ旱歳ニ雨ヲ禱ル所ナリ
通夜殿三間ニ二間鳥居ノ前ニアリ
鳥居神西柱ノ間八尺
本社三尺七寸四面南向
幣殿一間四面
拜殿四間ニ二間
神供所一間四面

神職桑名豊前 先祖ハ下總國ヨリ来リ桑野
氏ヲ稱ス後今ノ氏ニ改ム何頃ヨリ神事ヲ
掌リシニカ詳ナラス七代ノ祖ヲ彈正道永
トイフ天正中中地村ノ地頭伊藤氏ニ仕シ
カ中地ノ館陷テ後來テ禰宜内ニ住スト云
彈正カ曾孫ヲ河内尚永トイフ尚永ヨリ四
世ニシテ今ノ豊前久道ニ至ル
諏訪神社 境内ニ間四 禰宜内ノ南山腰ニアリ鎮
座ノ初詳ナラス鳥居并殿アリ桑名豊前はヲ

司ル
稻荷神社 境内ニ間四 端村餘江新田ヨリ辰巳ノ
方山腰ニアリ鎮座ノ初詳ナラス鳥居幣殿并
殿アリ桑名豊前はヲ司ル
磐崎神社 村中ニアリ鎮座ノ年月ヲ詳ニヤス
寛文中移シテ端村入宇田ノ山神社ノ相殿ト
ヤシカ寶永八年又舊地ニ復ス石鳥居幣殿并
殿アリ
神職渡部出羽 其先ハ數馬教忠トテ羽州最

新上ノ者ナリシカ萬治寛文ノ頃此地ニ来リ
當社ノ神職トナル令ノ出羽忠次ハ五世ノ
孫ナリトソ

山神社 北境 内東 西十 間四 除南 地入 宇田ノ西四十間計
ニアリ鎮座ノ初ヲ詳ニマヌ鳥居拜殿アリ渡

部出羽カ司ナリ

相殿五座

稻荷神

端村打越ヨリ移ス

諏訪神

同上

羽黒神

同上

婆神

端村濱ヨリ移ス

妙見神

端村峯崎ヨリ移ス

麓山神社 村ヨリ戌亥ノ方十町餘山上ニアリ

鎮座ノ年代詳ナラス毎年三月村民社頭ニ群

集シ一人ヲ擇テ祭主トシ篝火ヲ焚キ衆口同

音ニ神號ヲ唱テ年ノ豊凶ヲトスルニ神ソノ

人ニ託シ豊凶ヲ告ク必驗アリトソ鳥居アリ

渡部出羽是ヲ司ル

鬼渡神社

境内東西二十四間
南北十二間
免除地
村北一町五十間
鶴

山館跡ニアリ鎮座ノ始詳ナラス鳥居拜殿アリ

神職長谷川日向其先ヲ造酒丞某トイフ延

寶中始テ神職トナリ四世ニシテ今ノ日向家

長ニ至ル

寺院

感應寺

境内東西十三間
南北十二間
南村中ニアリ
淨土宗正

覺山ト號ス慶長十八年野州大澤圓通寺ヨリ

良讚ト云僧来リシヲ蒲生氏ノ臣布施某菩提

ノ為一字ヲ營ミ惠心作リ彌陀ヲ安シ良讚ヲ

請テ住セシム因テ今ニ圓通寺ノ末寺タリ本

尊彌陀客殿ニ安ス

長泉寺

境内東西二十四間
南北十四間
南
感應寺ノ北ニアリ

曹洞宗開山ヲ萬截ト稱ス文龜元年仙道石川

郡大寺村大安寺ヨリ來テ當寺ヲ草創シ寺ノ

後山ニ伊藤氏ノ築ケル館アリテ山腰ニ清泉

アリハ新城山長泉寺ト名ケシトソ今ニ大安

寺ニ隸ス客殿ニ釋迦ノ像ヲ安シ本尊トス
 觀音堂北境十三間西十五間南除地村西三十間山麓ニア
 リ三間四面東向千手觀音ヲ安ス寛元四年滿
 月ト云僧ノ著ハセル縁起其故下ニ空海カ手
 ツカラ刻メル由見ユ秘佛ニ元昔ヨリ見ル者
 ナシ毎年六月十六日同十七日恒例ノ會式ア
 リ蒲生氏ノ時許多ノ田地ヲ寄ス何頃ヨリ失
 シニカ詳ナラス寄附狀ノ寫三通アリ左ニ載
 ス

福海ノ千手觀音
 堂址清浄堂 錢
 千手院秀分 六
 而又志内出當在
 觀音ノ所付ノ方
 佛前燈の心下
 痛急 系系
 秀行極淨新念一而

新要之儀

町野左兵衛

奉書

三月廿二日

無河東

正半三氣

多段 遊

福浦

干年院

比治中

以上

福浦之干年院

堂地内年貢後

六百五拾八之成別

之成内寄年貢

干年院一人

折紙乞書一

有之

河

町友在

三有昔 懸河判

長半之

長及判

吉村宗義

心若水

心

先年 秀行拍時

親音 為燈所承承

六百五拾文之取之方

於自前放法去方

予之結去去年福

海村小打之御付知

太右百五拾人之自方

右目分式百拾八人
左目分式百拾八人
上別中別分百六
拾八人
下別中別分百六
拾八人
下別中別分百六
拾八人
下別中別分百六
拾八人

縁起

寶物

福満
千手院

元和元年
十二月
町長
和重

稲田

和重

一通満月筆其文如左

元和元年
十二月
稲田

敬白

奥及浅香群美縣在無窮山之

于午之眼觀音靈像御縁起事

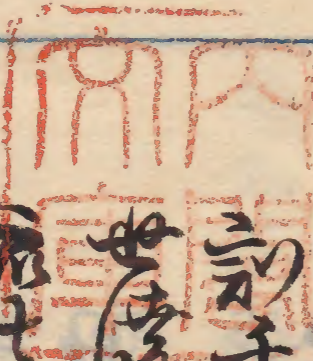
抑當山者全五十二代讓成天皇御宇部仁

三年空海法師其地修了該湖有邊一岸

層山顯現（山）姿痛信文字似及し其之

人氏曰大德普通信（山）治信立佛並師也正

信其願更思其靈中見信（山）治信靈變



中令先光射遍滿高聲告呼神詔經

官處師長軍法中令波觀者力泉起靈道散

右師靈念修（山）天降一坐靈相寄持者名

初于午像信公務信（山）觀者是也其武海及

世（山）崇大前（山）信墟亦靈海神現發（山）利靈

信于午像信公務信（山）觀者是也其武海及

蓮山山信亦疑中世（山）今（山）け（山）了（山）度

山信當榮類果新元（山）山（山）年者也

山段者（山）初者因縁如斯

此縁起令半七代後醍醐天皇
寛元四年三月廿一日満月上人
加法大師御自筆下如殘漸々
見伺旨之

酒色^{カウ}大^カ中^カ多人吞失^カ河大^カ師^カ也^カ
降伏^カあり^カ張尾^カ入^カ山^カ上^カ宮^カ尾^カ信^カ守^カ也^カ
五^カ勢^カ卧^カ設^カ伏^カ誌^カト^カ布^カ記^カ忍^カス^カリ

伊藤薩摩守影像 一幅筆者知ス上ニ左ノ書

付アリ

陸奥國安積郡福良郷觀音堂中興之大檀

那伊藤薩摩守盛恒傳曰檀那者昔在于當

郡中地城而領隣村於五邑矣時天正十八

庚寅歲霜月十九日於于大崎郡名生城守

忠於蒲生氏卿戰死矣壽五十七

別當千手院 北境 内東 西七 間南 本堂 人北 二アリ

魚窮山ト號ス紀州高野山人末寺真言宗十

リ開基ノ年代詳ナラズ満月夕著ハセル觀
音縁起ニ空海大蛇ヲ降伏シ蛇ノ伏タル所
ニ一字ヲ建立シ伏龍寺ト名クトアリ本尊
不動客殿ニ安ス鐘樓アリ鐘徑二尺正徳四
年三十世辨英カ時ニ鑄ル云々
藥師堂北境内東西二十五間免除地南端村穴尾谷北山麓ニ
アリ創立ノ時代詳ナラズ秘佛ナリ村民ノ持
ナリ
古蹟

鶴山館跡 村北二十六間鶴山ノ上ニアリ東西
二十六間南北十三間堀切ノ形殘レリ何頃ニ
カ伊藤氏ノ築ク所ト云東ニ對シテ峯仙山ト
云小山アリ里民ノ説ニ天正中伊藤盛恒此所
ニテ横澤彦三郎諱ヲ十合戦シ人馬ノ死骸ヲ
埋メ所トテ小キ壇セアリ又長泉寺ノ東ノ山
ニ伊藤氏ノ館跡アリ林木生茂リテ其形サ夕
古カナラス
石佛 村西三町餘白川街道ノ傍ニアリ何人ノ

古所為ニカ彌陀ノ像ニヲ巖面ニ雙ヘ彫レリ
古碑七一ハ端村彌陀内ノ西山麓ニアリ高二
尺計ノ野面石ナリ文字アレトモ處々磨滅シ
テ分明ナラス願以口切口普及於一切我等為
トノ見エテ其餘ハ分々難ク又右ノ脇ニ過
去廿二年左ノ脇ニ過去ニトアリテ其餘ハ磨
滅シ中央ニ元弘二年トアリ又其上ニ梵字蓮
華座ヲ彫レリ一ハ村西三町餘ニアリ高三尺
計ノ野面石ニ縁ヲ廻シ梵字蓮華座ヲ彫リ下

ニ元亨二ノ三字アリ餘ノ四ハ共ニ村北四町
餘ニアリ石ノサマ前ニ同シソノ中一ハ四方
ニ縁ヲ廻シ左右ニ右志者為悲母成佛得道又
口口故也古志者為慈父口口口口又口口故也
ト刻シ中央ニ元亨二年トアリ又其上ニ二
輪ヲ雙ヘ彫リ輪中ニ梵字蓮華座ヲ刻シソノ
下ニ花瓶ノ形三ヲ彫付タリ餘ノ三共ニ佛像
或ハ梵字蓮華座ナト見エ文字ハ剥落シテ見
エス又端村彌陀内ノ南ニ高三尺餘横一丈計

大石ニ縁ヲ廻シ中ニ梵字ヲ刻スルヤト
善行者彦兵衛 寛延二年米ヲ與テ褒賞ス
善行者與次右衛門 同上
忠義者五九衛門 寶曆元年米ヲ與テ褒賞ス
孝行者三郎 天明八年米ヲ與テ褒賞ス
善行者虎之助 寛政八年米ヲ與テ褒賞ス

馬入新田村

此村ハ寛永ノ初福良村ノ境内ニ闢キ之所ニテ
モト福良ノ端村ナリ貞享中分テ別村トス府城
ノ東ニ當リ行程六里十八町餘家數十一軒東西
四十間南北一町十三間東ハ山ニ傍三方田圃ナ
リ東四十間西二町四間南六町四十九間北五町
二十八間共ニ福良村ノ界ニ至ル其村ハ北ニ當
リ二十二町西ニ至ル其村ハ北ニ當リ
南ニ至ル其村ハ北ニ當リ

馬入口 村ノ南端ニアリ此ヨリ岫岨ヲ踰テ白
川領岩瀬郡ニ通ル徑路ナリ木戸門ヲ設ケ番
二戌ヲ置往来ヲ察セシムル至其後實此ニ當
ル者由寢善西無四同南六西四十同北五同
貞節者夕ツ此村ノ農民五兵衛妻土ノ享和元
年褒賞シテ米ヲ與テ人四石米三石神東西
其村ノ貞節ノ時節身村ノ對内ニ備ナリ西ニ
其人傳田村

濱坪村 端村 萬田 沼田 沼田 沼田 沼田 沼田
此村ハ湖濱ニ傍テ村東ニ坪沼本ノ小沼アリ
ハカク名久トハ府城ノ東ニ當テ行程五里三十
四町家數十軒東西一町三十七間南北三十七
間餘西ハ沼川ヲ隔テ福良ノ端村濱ニ鄰リ三方
田圃ナリ東五町二本松領舟津村ノ山ニ界ヲ西
小村際ニテ福良村ニ界ヲ沼川ヲ限テ南五町
福良村ノ界ニ至ル其村ノテ二十三町北五町湖
水ヲ限トス

本村ヨリ己方三町ニテ家數九軒東西十五
間南北一町十八間東南山三傍西北八田圃十
四山川ノ東一山三十六間南北三十六
高山ノ村東四町計ニテ山勢南北三長互連リ
湖濱ニ至ル二本松領ト界ニ峯ヲ限ル此山
ノ北湖水ノ涯ニ立石ト云石アリ此石ヲ以テ

會津二本松ノ境トス仍テ俗ニ境石トモ唱フ
沼川ノ村西ニアリ上流ヲ中川トイフ福良村ノ
境内ヨリ來リ北ニ流ルコト十一町湖水ニ
入ル廣五間餘
濱坪口ノ村ヨリ戌亥ノ方三町福良村ノ端村濱
ノ北ニ舟番所ヲ設ケ二本松領ニ往來スル湖
上ノ舟ヲ察セシム此所ヨリ湖上ヲ眺望スレ
北ハ猪苗代ノ濱邊ヨリ東ハ二本松領ノ遠

浦マテ湖面ニ浮ク舟船ノ往来スルモノ歴々

上シテ目中ニアリ此所ニリ陳工ノ振造

神社

縮荷神社村端村葛田内ノ北山上ニアリ鎮座ノ

始詳ナラス鳥居拜殿アリ福良村修験大鏡院

是ヲ司ル

山神社

境内東西南北八間免除地

村東ニアリ鎮座ノ初詳

河ナラス大鏡院是ヲ司ル

寺院

勢至堂

境内六間四方免除地

村中ニアリ草創ノ年代詳ナ

ラス大鏡院是ヲ司ル

褒善

久五郎元禄三年褒賞シテ米ヲ與フ

傳會津郡原組崎川

村

六之助幼クシテ父ヲ失ヒ母一人アリケルカ

童心ニモ深ク思ヒ遠キ所ニ游ヒ居テモ時移

レハ必歸リケルヲ近隣ノ者ト共ニ行ハ長居

ストモ心モトナカラヌヲ斯ク度ニ歸ラニハ

ムツカシカリナニナト云ケリ成長ノ後所用
有テ他ニ出テモ羨酒アレハ必求テ携帰リ夜
ニ入テ母ノ寢シ頃ナレハ自ラ温メ寤ルヲ待
テ勸シカ餘リ屢ハ益ナシト母ノ制スルヲ鬼
角計ラヒテ母ノ心ヲ慰メキ幾程ナク母病テ
失ヤケレハ深ク愁ニ沈ミ母ノ姊ナリ者能ク
母ノ面影ニ似タルトテ屢尋行テ對面スレト
只實ノ母ノコトノミ思ヒ出シテ次第ニ瘦衰
ヘヌレハ近里ノ者トモ如何ニモシテ愁ヲ忘

レ父母ノナキ跡ヲモ問ヘカシト或ハ諫メ或
ハ戒ムレトモ昼夜トナク片時ノ間モ忘難シト
對ヘケルトソ元禄三年米ヲ與テ褒賞ス

此の文は、母を慕ふ心と、母の病を憂へ、母の面影に似たる者を探し出すまでの苦しみと、元禄三年に米を賜はるるまでの経緯が、淡々と記述されている。母の病を憂へ、温めて寝かせるのを待つ姿は、母を思ふ心の深さをよく表している。母の面影に似たる者を探し出すまでの苦しみも、母を慕ふ心の強さを示している。元禄三年に米を賜はるるまでの経緯も、母を慕ふ心の強さを示している。

此村モト常夏川ノ東西ニ散在シ東ニ赤津治部
 左衛門西ニ栗森備中トテ二人ノ地頭アリテ各
 東西ヲ分テ領セシカ赤津後ニ栗森ヲ討テ其地
 ヲ押領シ民居ヲ一所ニ聚テ己カ名字ヲ以テ村
 名トセシトソ府城ノ東ニ當リ行程五里十四町
 餘家數百五軒東西一町南北六町西ハ山ヲ負三
 方田圃ナリ白川街道驛所ニテ村中ニ官官ヨリ

赤津村 アカツ
小名 端村
千貫石 小枝町
畠 北畠
東 東攻
南 南

此村モト常夏川ノ東西ニ散在シ東ニ赤津治部
 左衛門西ニ栗森備中トテ二人ノ地頭アリテ各
 東西ヲ分テ領セシカ赤津後ニ栗森ヲ討テ其地
 ヲ押領シ民居ヲ一所ニ聚テ己カ名字ヲ以テ村
 名トセシトソ府城ノ東ニ當リ行程五里十四町
 餘家數百五軒東西一町南北六町西ハ山ヲ負三
 方田圃ナリ白川街道驛所ニテ村中ニ官官ヨリ

令セラル、旋條目、制札アリ會津郡原組原村
驛ヨリ一里三十町二十二間此、繼キ此ヨリ二
十町四十八間福良村驛ニ繼ク東九町福良村ノ
界ニ至ル其村ハ卯辰ニ當リ十四町餘西十四町
計原村ノ界ニ至ル其村ハ戌ニ當リ一里二十五
町餘南一里二十八町會津郡ニ界ニ布列山ノ峯
ヲ限トス北十八町湖水ヲ限トス東ニ亦新設驛

小名

千貫石

本村ノ南十八町ニアリ家數二軒東西十一間南
北十二間西北ハ山ニ傍東南ハ田圃ナリ村ノ後
ニ一ノ大石アリ昔何人カ此石ヲ千貫文ニ買ヘ
シト云シトテ呼テ千貫石トイフ村名此ニ因ル
トシ寛政七年ニ開ク
本村ヨリ亥ノ方六町餘ニアリ家數九軒東西一
町餘南北二十間餘三面ニ山廻リ南ニ田圃アリ
寛政二年ニ開ク

端村

小枝町

本村ヨリ辰ノ方六町ニアリ家數十六軒東西一

町餘南北二町四十間白川街道ニ住ス東ハ山ニ

傍西ハ田圃ナリ

北向

本村ヨリ未ノ方十四町ニアリ家數五軒東西二

十間南北一町餘西南ハ山ニ倚東北田圃ナリ

東岐

本村ノ南二十町ニアリ三區ニ住ス西ハ一區

落合ト云家數十三軒東西一町十五間南北二町

餘西北ハ山ニ倚東南田圃ナリ落合ヨリ一町餘

東ニ一區アリ家數二軒東西十間南北二十間又

此ヨリ二町南ニ一區アリ家數四軒東西二十間

南北二十九間共ニ東ハ山ニ傍西ハ田圃ナリ

小倉澤

本村ヨリ亥ノ方三十町ニアリ家數三軒東西四

十間餘南北五十間餘小倉山ノ麓隘谷ノ中ニ住

ノ東北ノ方湖濱ニ傍ラズ山ノ麓ニ在リ中ニ
本村ニ山根ゴコノ村ニ三十四ノ戸ニ在リ東ニ神東西四
本村ノ北十五町ニアリ家數二軒東西十間南北
三十間西ハ常夏川ニ傍三方田畝ナリ
秋山アキヤマ南ニ一町ニ在リ東ニ神東西二十間
本村ヨリ丑ノ方十七町ニアリ家數二十三軒東
西二町二十間南北一町五十間餘散居ス四方田
畝ナリコノノ北湖濱ニ耶麻郡川西組戸口村及
會津郡原組篠山村ヨリ江戸ニ米ヲ運漕スル舟

ノ著ク所アリ湖濱ニ在リ山ノ麓ニ在リ
黒漆クニシ山川ニ在リ
布引山フヒキヤマ村南一里二十町ニアリ頂ニテ八町餘
安積會津二郡ニ跨リ峯ヲ限トス滿山竹樹叢
生ス村民山ニ入テ竹ヲ剪リ筍ヲ採ル者歸路
ヲ失シコトヲ恐テ路ニカラ處々ニ火ヲ焚キ
棄テ烟ヲ吐ルヘニ歸路ヲ認ムトソ會津郡ノ
松山マツヤマ村南二十町餘ニアリ山ノ狀峻絶ニシテ

高二十餘丈柱石ヲ産ス斧ヲ以テ打テハ石理
横ニ垢テ數片トナル取テ礎トスルニ甚好シ
小倉山^{クラ}端村小倉澤ノ西ニアリ頂ニテ十八町
因テ俗ニ十八町山トモ唱フ昔ハ金ヲ産セシ
トシ西ハ原組經澤村ト峯ヲ界フ松樹多シ
小枝坂^{コエダ}端村小枝町ノ南端ヨリ東ニ登ル坂十
町ノ麓ヨリ頂ニテ一町餘白川街道ナリ
黒森^{クロモリ}峠山村ヨリ戌亥ノ方十七町餘ニアリ白川
街道ニテ西ニ登ル坂ナリ九折ニシテ登ルコ

ト三町餘絶頂ニ至テ西山相束子徑狭ク山
並ニ行クハカラス俗ニ咽^{ノド}究トイフ^{原村ノ餘}
又端村北向ノ西十八町ニ境^{サカノクキ}岫トテ原村ノ
端村田代ニ至ル山途アリ昔冬坂往還ノ街道
ナリシトイフ絶頂ヨリ三町計東ニ下テ途ノ
傍ニカノコ塚トテ一堆ノ古塚アリ里民ノ説
ニ何ノ頃ニカカノコ組トテ山賊多ク此所ニ
棲テ冬坂往来ノ旅人ヲ惱マシケルカ伊藤太
四郎トイフ者山賊ヲ薙ニシテ其骸ヲ一處ニ

埋メテ所トイフヲ湖底ニ埋メテ其端ト一長
常夏川村東五十間ニアリ川ノ邊ニ常夏多ク
生ス因テ斯ク唱フ布引山ヨリ流レ出北ニ流
ルコト一里三町餘湖水ニ注ク廣六間多ク
田畝ノ養水トナル也
小滝川關梁
橋五ノ一八村ヨリ辰巳ノ方一町餘白川街道ニ
アリ長五間幅二間勾欄アリ一八端村北向
東ニアリ長五間一八村ヨリ壬寅ノ方二町餘

ニアリ長五間共ニ土橋ナリ一八端村東岐ノ
小名落合ノ東ニアリ長五間幅四尺一八東岐
ノ西ニアリ長五間幅一間共ニ村中ノ通路常
夏川ニ架ス
水利
堤ノ端村富永ノ東北ニアリ周百二十間
米倉
村中ニアリ本組ノ米ヲ納ム
神社

諏訪神社 境内十二間 村ヨリ辰己ノ方五町四十

間山腰ニアリ勸請ノ年代詳ナラス鳥居幣殿

拜殿アリ

相殿五座

熊野宮二座 共ニ本村ヨリ移ス

稻荷神 同上

山神 同上

幸神 同上

神職真船奥守 其先ハ上野國ヨリ来リ慶長

中神職トナリ數代ヲ経テ享保中ニ伊豫義

彦トイフ者アリ今ハ奥守義春四代ノ祖ト

権現社 境内東西五間 南村南一町計山腰ニアリ

鎮座ノ初ヲ傳ヘス拜殿アリ蓮藏寺是ヲ司ル

諏訪神社 境内十二間 端村秋山ノ南ニアリ鎮座

ノ年代詳ナラス鳥居アリ蓮藏寺是ヲ司ル

相殿一座

秋山ヨリ移ス

麓山神

愛宕神社 境内四間 村西山上ニアリ鎮座ノ始

詳ナラス鳥居幣殿拜殿アリ修驗真光院是ヲ

司ルカキナシ

清信寺院

長福寺 境内東西十二間 南村中ニアリ山號ヲ高

巖山トイフ郭内興徳寺ノ末寺臨濟宗ナリ閑

基詳ナラス或云興徳寺ノ第三世大圭ノ閑基

ナリトモト端村小枝町ニアリ元龜二年伊藤

彈正此ニ移シテ田地 今御前櫻ノアル 山林寺

後ト云 山ナリ寄セテ寺産トス寛永三年火災ニ

罹テ交割皆焼失ス本尊釋迦客殿ニ安ス

辨天堂 境内ニアリ

蓮藏寺 境内東西十四間 南長福寺ノ南ニアリ遍

照山阿彌陀院ト號ス真言宗府下大和町金剛

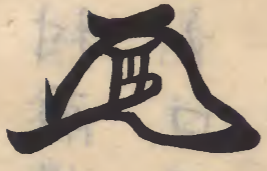
寺ノ末寺ナリ閑基ノ年代詳ナラスモト端村

山根ニアリ元龜三年住持宿典カ時伊藤彈正

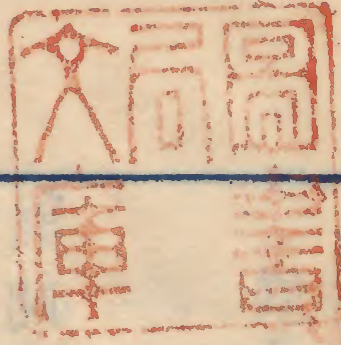
此ニ移ス因テ宿典ヲ以テ中興トス彌陀ヲ本

尊トシ客殿ニ安ス

観音堂 境内ニアリ
古蹟
館跡 村北山上ニアリ 周六町三十間餘 此村ノ
領主伊藤彈正諱トイフ者 築クトソ 本九趾
東西三十二間 南北三十間 二之九趾 東西三十
間 南北二十六間 本九二之九ノ間ニ掘切アリ
初此城ヲ築シ時 名馬ヲ埋テ其上ニ築シトテ
名馬城ト唱フ 又村ヨリ十二町東ノ山上ニ一
ノ館跡アリ 来由ヲ傳ヘス 又長福寺ノ境内ニ

彈正カ墓ナリトテ 石塔アリトモ 其世ノ物ト
ハ見エス 彈正カ事跡詳ナラズ 磨上ノ役ニ戦
功アリシニヤ 葦名義廣ヨリ 與ヘシ書 舊事雜
考ニ見ユ 其文如左

右今般無ニ被抽 忠信候之事 奇特大
慶之至候 依之東山 初五拾貫之所 速
進置候 如此之上者 猶以可有奉公事

葦名義廣判



可為肝要者也
天正十七年六月九日
赤津彈正忠殿

御前櫻

村南八町餘常夏川ノ西田畝ノ中ニア

リ土人ノ口碑ニ昔此村ニ大満長者長者カ宅

ト櫻樹ノアル所ヨリ少シ西南ノ田畝ニ臺屋敷トイフ字アリ秋収ニ至ルコトニ村民此所

ニ藁者カ以テ屋ヲ造トテ富有ノ者アリ或時一

候家ノ女兵亂ノマキレ賊ノ手ニ掠ラレ轉賣

セラレテ長者カ家ノ婢タリシカ一日思郷ノ

情イト堪カタカリケルマ、庭前ニ立出テ櫻

ノ一枝ヲ手折若世ニ十カラヘテ再家ニ帰ル

コトヲ得ハ斷枝再繁茂スヘシト誓テ川邊ニ

挿シケルカ忽枝葉生茂テ果シテ故郷ニ帰ル

コトヲ得シトソ此樹今ニ繁茂シテ春月ニ至

ルコトニ紅艶露ニ醉濃香風ニ薰ス里人呼テ

御前櫻トイフ總テ他木ト異ニシテ常ニ稚枝

四五條ノ汁立テ稍長スレハ其マ、枯テ又藁

ヲ生シ卒ニ大木トナルコトナシ

寝善

三十郎端村東岐ノ者ニテ幼ヨリ父母ニ孝行
ナリ家甚貧シキ故二十ノ年福良村長泉寺ニ
仕ヘ翌年城下ニ出テ奉公シ二十五ノ暮ヨ
リ渡邊多門ト云士ノ奴トナル多門少禄ニテ
家累多ク貧ニ苦ミケルニ三十郎日々山ニ入
テ薪柴ヲ刈世ノツ子四五人シテ擔フ程ナル
ヲ一人シテ伐集メ山近キ里ニ主人ノ友アリ
ケレハ其家ニテ擔來リ三分ノ二ヲ預ケ置キ

天氣悪キ折ナト追々ニ運送ス彼殘ル一分モ
猶他人ノ二人シテ擔フ程ナレハ彼友モ彼カ
精勤ニ感シテ毎度酒ヲ與テ勞ヒケリ多門カ
父ヲ玄養トテ白川ノ大守ニ仕フ頃日病ニ罹
ヌル由檄ヲ飛シテ多門カ許ニ告ケレハ頓テ
馳行テ介抱シケル多門カ祖母ハ子ノ病ニ臥
スト聞案シ煩ヒケルヲ三十郎見ニ堪ス纔ニ
十尺ノ鳥目ヲ以テ白川ニテ二日路ノ所ヲ秋
ノ日短ナルニ一日ニ至リ玄養カ病ヲ問テ翌

日ハ立歸リ祖母ニ安否ヲ知ラシムルコト總
テ八度其後多門父ノ快起ヲ待テ若松ニ歸リ
三十郎カ志ヲ懇ニ褒稱シテ暇ヲ取ラセケレ
ハ其翌年ヨリ二年ハ舊里ニ居テ兄ノ農業ヲ
助ケ又二十八ノ年ヨリ出テ身ヲ賣前後十五
年ノ間得ル賸ノ給金悉ク兄ノ貢統父母ノ養
ニ當テタリ父曾テ家ノ田畑ヲ二ツニ分テ兄
弟ニ與ヘケルニ兄ニ讓テ受ス斯ク身ヲ賣リ
シ中ニモ主人ノ隙ヲ伺ヒ黄昏ヨリ出テ、父

母ヲ省ミ必酒肴茶菓ノ類携行テ進メ明朝又
未明ニ立歸リ少シモ主人ノ用ヲカクコト十
シ主人モ彼カ孝心ノ淺カラヌヲ憐テ屢許シ
テ歸シケル其後父母ハ七十ヲ越テ終リケレ
ハ又出テ、家士百瀬七兵衛トイフ者ノ許ニ
奉公シテ數年ノ間能勤メ其時世ニ忠孝傳ト
云書ヲ編メルモノ、中ニモ彼カ傳ヲ載セラ
レアリトテ其善行ヲ訴ヘケレハ享保五年米ヲ
與テ褒賞ス

力田者新兵衛 寛保三年褒賞シテ米ヲ與フ
力田者吉十郎 新兵衛子ナリ同上
善行者嘉兵衛 寛政元年褒賞シテ米ヲ與フ
善行者嘉七 同上
善行者吉助 寛政八年褒賞シテ米ヲ與フ

此村昔ハ處々ノ溪間ニ散居セシヲ伊藤氏此地
ヲ領シテ三代目ニ今ノ所ニ聚テ一村トシ三
代村ト名クト云府城ノ東ニ當リ行程六里三十
二町餘家數六十三軒東西一町十間南北三町四
十三間東西ニ山ヲ擁シ南北ニ田圃ヲ闢ク村西
ニ一里塚アリ此村ハ白川街道驛所ニテ村中ニ
官ヨリ令ヤラル、掟條目ノ制札アリ福良村
驛ヨリ三十三町二十二間此ニ繼キ此ヨリ二里

三代村 小名 唐澤 新田 北澤

此村昔ハ處々ノ溪間ニ散居セシヲ伊藤氏此地
ヲ領シテ三代目ニ今ノ所ニ聚テ一村トシ三
代村ト名クト云府城ノ東ニ當リ行程六里三十
二町餘家數六十三軒東西一町十間南北三町四
十三間東西ニ山ヲ擁シ南北ニ田圃ヲ闢ク村西
ニ一里塚アリ此村ハ白川街道驛所ニテ村中ニ
官ヨリ令ヤラル、掟條目ノ制札アリ福良村
驛ヨリ三十三町二十二間此ニ繼キ此ヨリ二里

三町三十間守山領岩瀬郡勢至堂村驛ニ繼ク又
村中ヨリ東ニ分レテ仙道ニ通ル街道アリ二十
町二十四間中地村驛ニ繼ク東五町計二本松領
淺野村ノ山ニ界フ西四町福良村ノ界ニ至ル其
村ハ酉戌ニ當リ二十九町十間餘辰巳ノ方一里
十六町五十九間勢至堂村ニ界ニ勢至峠ヲ限ト
ス北十七町二本松領舟津村ノ山ニ界ニ高森山
ノ峯ヲ限トス又子ノ方八町四十間中地村ノ界
ニ至ル其村ハテ十八町四十間餘

小名

中入新田

本村ヨリ辰巳ノ方十五町十間餘ニアリ家數五
軒東西三十八間南北四十八間三面ニ山ヲ擁ニ
西ニ田圃アリ天明六年大沼郡東尾岐組東尾岐
村ヨリ本地挽來テ漸々ニ田地ヲ闢キ寛政五年
ニ名ヲテ中入新田トイフ今ニ本地ヲ挽テ産業
ヲ資クニ十間餘南北三十八間東西四十八間
本村北澤

本村ヨリ戌亥ノ方十町二十間餘ニアリ家數四
軒東西二十間南北三十間山麓ニ住レ西南ニ田
圃アリ
端村
唐澤
本村ヨリ辰巳ノ方一里五町ニアリ俗ニ切拂ト
唱フ家數六軒東西一町三十八間南北三十間西
山ノ間白川街道ニ住ス此ヨリ亥ノ方白川街道
ニ一里塚アリ

高井原山^{タカノハ}村南一里三十町二十間餘ニアリ頂
マテ六町西ハ福良村ニ屬ス絶頂平ニシテ喬
木ナク眺望甚佳ナリ頂ニ一ノ小沼アリ里人
ノ説ニ大同中空海此山ニテ護摩ヲ修シ其時
手ヲ洗シ沼ナリト云又山麓ニ一ノ巖窟アリ
空海ノ息ヘル所トテ呼テ大師巖穴ト云窟口
船ノ形ニ似タルヲ以テ船澤トモ唱フ入口ノ
高四尺計横二尺餘中ニ三疊敷計ノ所アリ四

方切石ヲ疊シタルカ如シ又階ノ如クナルモ
ノ三級計ヲ經テ奥ニ入レハ益廣シテ六疊敷
計ノ所アリコレヨリ奥ハ深黝ニシテ窮ムル
コト能ハス此窟ニ入ル者松明ヲ燈テ入ルニ
蝙蝠甚多ク亂飛シテ面ヲ撲ツ
黒塚山 村南二里十八町餘ニアリ東南ハ守山
領岩瀬郡ニ界ニ峯ヲ限トス又西ノ方ハ福良
村ニ屬ス
勢至峠 端村唐澤ノ東七町二十間餘白川街道

ニアリ兩山相束テ左右ニ壁立シ一線ノ路ヲ
通ス屈曲シテ登ルコト四町三十間絶頂ニ至
ル道ノ右ニ表石ヲ立テ是ヨリ西北ハ會津領
ト刻メリ又道ノ左ニ茶店アリ此峠ハ安積岩
瀬二郡ニ跨リ絶頂ヲ限トス守山領勢至堂村
ノ方ニ踰ル坂ナレハ勢至峠ト稱ス勢至堂村
ノ方ニ下ルニハ坂極テ長シ此邊ノ諸村地形
ノ高キヲ知ルハ
三代川 村東二十間ニアリ源ニアリ一ハ黒塚

山ノ麓ヨリ發シ一ハ勢至峠ノ麓ヨリ發ス二
派合シテ北ニ流ル、コト三十三町五十間餘
中地村ノ界ニ入ル廣五間ハヒ艱岩魚ヲ産ス
不動瀧村ヨリ辰己ノ方一里二十町餘山間ノ
谷川ニアリ高三丈餘懸水五ニ分レ瀉ク瀑布
ノ上ナル巖ニ龍ヲ彫付タルアリ旱魃ノ時雨
ヲ祈ル所ナリ
原野
秣場村南一里餘ニアリ東西一町南北二十町

字ヲ小屋入コヤイリ云

關梁

三代口村ノ西端白川街道ニアリ木戸門ヲ設
ケ番戌ヲ置キ往來ヲ察セシム又嶮ニ據テ端
村唐澤ノ入口ニ出番所ヲ構フ此ヨリ勢至峠
橋三ハ一ハ村ヨリ辰己ノ方一里十八町白川街
道ニアリ長四間幅一間半勾欄アリ一ハ村東
二町餘仙道ニ通ル街道ニアリ長八間一ハ端

村中入新田ノ西二町二十間ニアリ長六間村
中人通路ナリ共ニ三代川ニ架ス土橋ナリ

水利ニ
水利

堤村西十町餘ニアリ東西二十間南北二十五

間

倉廩

米倉村中ニアリ本組ノ米ヲ納ム本ノ

神社

熊野宮 境内東西八間南村東三町餘山腰ニアリ

鎮座ノ年代詳ナラス鳥居アリ赤津村真船奥

守カ司ナリ

相殿三座

山幡宮 本村ヨリ移ス

山神

推現

羽黒神社 境内東西三間南村北六町二十間餘山

腰ニアリ鎮座ノ年代詳ナラス鳥居幣殿并殿

高ナリ修驗常法院是ヲ司ル

高井原神社 境内四間 免除地 四村西一町四十間山腰ニ

アリ祭神詳ナラスモト高井原山ノ頂ニアリ

天正二年今ノ地ニ移入ト云石鳥居拜殿アリ

修驗寶藏院是ヲ司ル

新寺院

正福寺

境内東西七間半南 北十二間半年貢地 村西一町三十間ニア

リ真言宗御代山ト號ス元龜三年ノ草創ニテ

開山ヲ如伯ト云元和中重高ト云僧仙道長沼

ヨリ來リ住シ寛永十年紀州高野山ニ至テ真

言ノ法流ヲ汲ミ遂ニ彼末山トナル其後正徳

三年良栄ト云僧住シテヨリ改テ江戸彌勒寺

ニ隸ス本尊大日客殿ニ安ス

古蹟

館跡 村ノ東南五町餘山上ニアリ昔此村ノ地

頭小檜山縫殿之助 諱ヲ傳 ト云者ノ居趾ト云

今ハ樹木生茂テ狐狸ノ棲トナリ其形サタカ

ナラス土人呼テ御膳山ト云又山下ヨリ出ル

清水ヲ御膳清水ト唱フ

善行者藤右衛門元文五年米ヲ與テ褒賞ス

善行者釋功海正福寺ノ住侶ナリ安永八年米

ヲ與テ褒賞ス

正福寺

正福寺

正福寺

正福寺

正福寺

正福寺

中地村 小名 岩崎

此村人民居昔ハ處々ノ山間ニ散居マシテ小倉

山館ヲ築シ時田圃ノ中ナリ平行ノ地ニ村居ヲ

定メ中地村ト名クテソノ府城ノ東ニ當リ行程七

里十六町餘家數八十七軒東西三町五十八間南

北一町十間村中ヲ中地川流レ四方田圃ナリ村

東ニ一里塚アリ此村ハ仙道ニ通ル街道ノ驛所

ナリ村中ニ官ヨリ令セラル、提修目ヲ制札

アリ三代村驛ヨリ二十町二十四間此ニ繼キ此

ヨリ三里三十二町守山領町守屋村驛ニ繼ク又
村中ヨリ北ニ分レテ二本松領ニ通ル街道アリ
十八町二本松領舟津村驛ニ繼ク辰ノ方一里三
十三町守山領ニ界ニ誣訪峠ヲ限ト又西二十町
餘舟津村ニ界ニ袴腰山ノ峯ヲ限ト又南四町五
十二間餘二本松領浅野村ニ界ヲ北百町十八間
舟津村ニ界ヲ又未ノ方十一町二間三代村ノ界
ニ至ル其村者テ十八町四十間餘

小名

岩崎イハカサキ

本村ヨリ申ノ方七町ニアリ家數三軒東西十間
南北三十九間西ハ山ニ倚東ハ田圃十ノ外
東山川
誣訪峠村ヨリ辰ノ方一里十三町ニアリ麓ヨ
リ頂ニテ二十町昔絶頂ニ誣訪ノ神社アリ因
テ斯ク唱フ仙道ニ通ル街道ニテ曲折ニテ東
ニ登ル坂ナリ守山領ト界ニ絶頂ヲ限トス
笠森山カサミ誣訪峠ノ南ニアリ東南ハ守山領ニ屬

又山脉綿直シテ西北ニ連リ百目貫山ニ續ク
峯ヲ限リ二本松領淺野村ニ界フ
百目貫山^{トウメ}村ヨリ己ノ方五町ニアリ雜木多シ
峯ヲ限リ淺野村ニ界フ
高石山^{タカシ}詠訪峠ノ北ニアリ東北ニ續テ^{クシカミ}檜峯ヲ
リ東八守山領ニ屬シ峯ヲ限トス
中地川^{ナカチ}笠森山ノ麓ヨリ發シ西北ニ流テ村ヨ
リ四町計東ニテ日山澤川東北ヨリ來テ是ニ
會シ西流シテ村南ニ至テ淺野川南ヨリ來テ

是ニ注キ又西流シテ村中ヲ過キ西北ニ流テ
二本松領舟津村ノ界ニ入ル大凡此村ノ境内
ヲ經ルコト二里二町餘廣二十間此川夏ニ至
ルコトニ村東四五町ヨリ地中ヲ湫流シテ村
西一町計ニ至テ流レ出ツ
日山澤川^{ヒササ}源ハ檜峯ヨリ發シ斜ニ山足ヲ廻テ
西北ニ流レ又西南ニ轉シ大凡一里三十一町
餘中地川ニ入ル廣十間
三代川^{サダイ}村西六町餘ニアリ三代村ノ境内ヨリ

来リ北ニ流ル河橋上二十二町三本松領舟津
村ノ界ニ入ル廣六間

關梁村又西南ニ轉シ六里ニ至リ

中地口村中仙道ニ通ル街道ニアリ木戸門ヲ

設ケ番戌ヲ置キ往来ヲ察セシム

橋二一八村中仙道ニ通ル街道ニアリ長六間

中地川ニ架ス土橋ナリ一八村西七町村中ニ

通路ニアリ長八間三代川ニ架ス丸木橋ナリ

倉廩又西城南ニ村中淺野川西北ニ赤

米倉村中ニアリ本組ノ米ヲ納ム

神社

小倉神社境内東西南北六間半免除地村ノ西北小倉山館跡

ニアリ祭神ハ宇摩志麻治命鎮座ノ年代詳ナ

ラス鳥居アリ赤津村真船奥守カ司ナリ

伊勢宮境内ニアリ鎮座ノ年代詳ナラス相

殿四座アリ

山神本村ヨリ移ス

天王神同上

愛宕神

同上

羽黒神

同上

諏訪神社

境内東西十八間免除地

村北三町ニアリ鎮

座ノ年代詳ナラス傳テ云源義家朝臣ノ勸請

ナリトモト諏訪峠ノ頂ニアリシカ伊藤氏小

倉山館ヲ築キシ時此地鬼門ニ當レルトテ鎮

護ノ為移セリトソ鳥居アリ東光寺是ヲ司ル

八幡宮

境内東西十七間免除地

村西一町ニアリ鎮座

米ノ年代詳ナラス鳥居アリ三代村修驗寶蔵院

是ヲ司ル

寺院

満福寺

境内東西十九間免除地

村西八町山麓ニアリ

本州岩瀬郡長沼村永泉寺ノ末寺曹洞宗ナリ

永正十四年月宮ト云僧草創シテ観音ヲ安置

シ金蔵山満福寺ト名ク又鐘一口アリ徑二尺

一寸元禄五年八世笠翁カ時ニ鑄ル

熊野宮 境内ニアリ鎮座ノ年代詳ナラス鳥

居アリ

阿彌陀堂 北境 十六間 東西十一間 南村北ニアリ 四間 四

面南向天喜中源義家朝臣東征ノ時暫賊鋒ノ

銳ヲ避テ三森^{ミツモリ}峠ト云所ニ屯^ヒニ佛神ノ加護ヲ

祈誓マラレシニ賊兵忽潰散ヤシカハ凱旋ノ

日一字ノ堂ヲ建立シ長一丈十ル坐像ノ彌陀

ヲ安置マラレシト云此堂モト村ヨリ三十町

計東ノ山中ニアリ 遺趾ニ舊礎猶存ス 寛文中肥後守正

之此ニ移シテ再營ス八月朔日ヨリ同三日々

テ恒例ノ會式アリ

別當東光寺 北境 二十間 東西二十間 南本堂ノ西ニ

アリ何頃ニカ此村ノ領主伊藤氏阿彌陀堂

ヲ修補シ併テ一字ノ草菴ヲ營テ別當トシ

シ小倉山館ノ東ニ當レハトテ小倉山東光

寺ト名ヤシトソ元禄二年ヨリ真言宗江戸

彌勒寺ニ隸ス

古蹟

小倉山館跡 村ノ西北隅小山ノ上ニアリ一ニ

鶴島城ト唱フ東西四十八間南北二十一間南

ハ中地川繞リ三面ニ堀形存シ東ノ方平地續
ニ出丸ノ跡アリ何ノ頃築キシニカ詳ナラス
伊藤氏代々ノ居城ニテ天正ノ頃薩摩守盛恒
ト云者住ス此邊多ク伊藤氏ノ所領ナリシニ
ヤ天正ノ頃ニテ支族處々ニ碁布シ各地名ヲ
以テ稱セシトシ横澤彦三郎志津因テ今ニ伊
藤氏ノ居趾處々ニ殘レリ伊藤氏ノ世系事蹟
詳ナラス村老ノ傳ハル所ハ盛恒天正十七年
横澤彦三郎カ為ニ此所ヲ攻落サシテ福良村

ニ奔リ再横澤上戦ニ遂ニ討死スト云四家合
澤彦三郎ト云者磨上ノ役ニ赴クハ軍散シテ
後横澤竊ニ湖上ヨリ己カ在所ニ引歸シ急ニ
手勢ヲ率テ中地カ館ヲ攻落セシ事見ユルハ
盛恒カ事又福良村午午院所蔵ノ盛恒カ影像
ノ書付ニハ天正十八年蒲生氏卿ニ從テ大崎
ニ赴キ十一月十九日名生城ニテ力戦シテ死
セシ由見ユニ説孰是ナルコトヲ知ス又此ヨ
リ四町計西田畝ノ中ニ盛恒カ先祖ノ墓ナリ
トテ古キ石塔一基アリ

長吉 四人トナリ實直ニシテ公納滞ルコトナク
若同輩ニ滞ル者アレハ必償テ納ム父母八年
老テ弟市三郎カ許ニアルヲ朝夕行テ起居ヲ
問ヒ懇ニ孝養ヲ盡シケレハ家内ノ者トナシ
ニ化ヤリ或時父長吉ニ向テ家ヲ替テ市三郎
ト共ニ汝カ家ニ移ラント言ケレハ聊モ拒ム
色ナク貯置ケル米穀ヨリ什器ニ至ルマテ其
儘置テ己ハ市三郎カ家ニ移リキ此村ハ二本

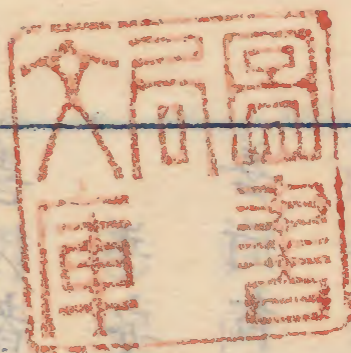
松領ニ隣リシカ彼地マテモ萬ツノコト皆長
吉カ行ヲ以テ則トヤシトソ享保二年褒賞シ
テ米ヲ與フ

忠義者半六 寛延三年褒賞シテ米ヲ與フ

善行者石井庄右衛門 此村ノ檢斷ナリ寶曆六
年安永元年二度褒賞シテ米ヲ與フ

善行者茂兵衛 此村ノ肝煎ナリ寶曆六年褒賞
シテ米ヲ與フ

孝行者源吉 寛政九年褒賞シテ米ヲ與フ



皇清同治六年
 五月二十日
 奉 旨
 著 交 吏 部 知道
 欽 此



